

第1102号

令和5年3月20日発行

URL https://shinkyo.or.jp shinkyo@shinkyo.or.jp



公益社団法人 信濃教育会 長野市旭町 1098

2 026 (232) 2470 編集兼発行人/武田 育夫



第4回臨時総会報告… 2~3 令和5年度代議員選挙公示…4 **令和5年度収支予算書**… 5~7 懇談会報告 … 8 「教職員川柳」優秀作品発表 … 9 旅費支給規程改正のお知らせ … 9 アフタヌーンセミナーへのお誘い… 10 「長野県学事関係職員録」にかかわるお願い… 11 リレー通信 わたし自慢ෛ 恵まれていた人とのつながり 児玉大和(野沢中学校)… 11 100年館の絵 小林ゆかり (常盤中学校)··· 12 会員ひろば 矢野竜士 (城北中学校)··· 12

雑誌「信濃教育」 **購読のおすすめ**

138年の歴史を持つ日本一長寿の月刊学術図書「ブレない教育精神と自信と自負を持って行っている 実践|に学ぶ場.「教育に情熱を燃やす仲間の.熱き思い|に出会う場としてぜひご活用ください。

●編集の特色●

●新企画 長野県に縁のある執筆者(郡市教育会推薦)による『リレーエッセー』No.2

5月号 草本 朋子 白馬インターナショナルスクール代表理事 (北安曇教育会) 9月号 武田 7月号 平賀 研也 前県立長野図書館館長 (上伊那教育会)

ついます (長野 ト水内教育会) 6月号 青木 幸雄 千曲市総合教育センター所長 (更埴教育会) 12月号 赤羽総一郎 上高地みそ株式会社代表取締役社長 (高等学校教育会) 1月号 武田 忠善 前国立音楽大学学長 (中野·下高井教育会) 8月号 さくまゆみこ 翻訳家・日本国際児童図書評議会会長(木曽教育会) 3月号 赤沼 健至 株式会社燕山荘代表取締役社長(安曇野市教育会)

②特集 我が教育会の取組 No.4

- ❷「子ども達が教えてくれたこと~教職のやりがいを見つめる~」「私の「学級づくり」」「私の「授業」」
- **①**生徒指導の充実に向けて ~インターネット問題を考える~
- **日特集 我が校の授業研究**



購読のお申込みは総務部 TEL026-232-2470へ

教育会は先生方の主体性の結晶

新しい時代の教育を求めていくとき 「教師の主体性」「教師の自由」がベースにあるべきだ

令和4年度第4回臨時総会を、2月4日(土)に信濃教育会館講堂において、代議員数50名中49名の出席者により開催し、3つの議案が全て承認され2つの協議題についても協議された。さらに「教員を目指す若者が減少している状況を受け、各教育会でできることは」をテーマに活発な意見交換がなされた。以下臨時総会の概略を報告する。

【武田会長開会のあいさつ】

- ○休日にかかわらずお越しいただいたことに感謝申し上げる。信濃教育会の事業もまとめの時期となった。代議員の皆様はじめ、多くの方々のご理解とご協力で、多くの事業が無事終了しようとしている。
- ○教育会は先生たちが時には切磋琢磨し時には助け合って自らの力量を高めるためにある。信濃教育会は先生たちの「主体性」を尊重することを事業推進の基本としている。信教全県大会の授業者や会場校は持ち回り制を廃止し立候補制とした。また、研究調査委員会の委員は公募制とし郡市割当制をやめた。
- ○子どもたちの主体的な学びを実現しようとするときに、先生たちが主体的でなくしてそれが実現するとは思えない。子どもたちの個性的な学びを推進するためには先生たちが個性的でなければならない。しかし、教育会全体が統制的で管理的な状況において、教師の没個性化が止まらない。信濃教育会や郡市教育会は先生たちの主体性の結晶である。そして主体性を発揮するために、先生たちを自由にするのが教育会なのである。個性的な先生たちが子どもを尊重し、子どもの個性を開花させようと県下各地で個性的な実践を行ったのが「信州教育」である。まさに百花繚乱とでもいうべき「信州教育」と言われたものが一つの特徴であると私は思う。
- ○子どもの多様性に寄り添う教育を進めていくとき、多様性のない教師集団でいいとは思えない。 長野県内、どこの学校に行っても同じような指導案や同じような研究をしていて多様性を論じる事が出来るのであろうか。新しい時代の教育を求め

- ていく時,「教師の主体性」表裏一体のものとして教師の自由がベースにあるべきだ。そして, それを実現できる可能性を強く持っているのが先生たちが自主的に集う信濃教育会や郡市教育会であると思う。
- ○本日は、来年度の事業計画、予算案の審議・協議が 行われるが、ぜひ多くの方に意見をいただきたい。

- (1) 第1号議案「令和5年度公益社団法人信濃教育 会事業計画(案)の承認」に関す る件
- (2) 第2号議案「令和5年度公益社団法人信濃教育 会収支予算(案)の承認」に関す る件
- (3) 第3号議案「令和5年度公益社団法人信濃教育 会資金調達及び設備投資の見込み (案)の承認」に関する件

- (1) 令和5年度講習・講座の基本的な方向と計画概要について
- (2) 第137回信濃教育会総集会更埴大会の計画について

- (1) 会報3月号掲載の代議員選挙公示について
- (2) 令和5年度新規助成事業について
- (3) 令和5年度全県研究大会計画
- (4) 令和5年度「学事関係職員録」の刊行
- (5) 令和5年度年間行事予定

- (6) 令和5年度「信濃教育会報」の発行について
- (7) 教育実践誌「ふるさとの大地」発刊のお知らせ
- (8) 信濃教育会 PV の制作及び活用について

テーマ「教員を目指す若者が減少している状況 を受け、各教育会でできることは」

- ○先生方が魅力のある、あの先生のようになりたい、といった人物像を見せられるような教師になっていかなければ教職を目指す若い人たちは増えていかないのではないか。現場にいる先生方が魅力のある教師となるため、自分を磨くための研修に参加することが重要なのではないか。
- ○下伊那では郷土調査部という郷土の自然や歴史,文 化を学ぶ委員会がある。そこに,大学や高校の生徒 と先生方の委員会をタイアップしてみてはどうか。
- ○小県上田地区では、長野大学、信州大学、上田女子短期大学と3つの大学がある。現在、長野大学の多くの学生が市内の小中学校の放課後学習にボランティアで来ている。学校の現場へ自らボランティアで来ている学生と教育会で新しく学べる事業を作ることが出来るのではないか。運動会、音楽会、文化祭といった学校行事に学生たちにかかわっていただき、その中で先生や生徒たちと触れ合いながら体感してもらう。繋がりを活用しながら、学生に教員の魅力を見せる。そういった活動がこれから教育会として出来ればいいと思う。
- ○中学校までは職場体験があるが、高校生の職場体験がない。その高校生にどう教員の魅力を発信していけるかが重要である。また、松本では松本大学のインターンシップ、ボランティア活動、実習を市内すべての学校で受け入れている。これらのことから、松本大学の学生にとって教員を目指したいという気持ちが高まっている。信濃教育会の「若手教員と会長が語る会」と同じように「若手教員と学生が語る会」といった若手教員との繋がりを作っていくとよい刺激を受けて教員を目指してくれるのではないだろうか。

【武田会長閉会のあいさつ】

○昨日、長野県教育委員会と、「教員不足の現状」 「免許更新制廃止後の教員の研修の在り方」等に ついて連携して取り組んでいくという覚書を交わ した。冒頭で、信州教育というものは「若い先生 が子どもたちや自由教育のためにそれぞれのやり 方で取り組んだものだ」と話をしたが、もう1つ 信州教育の特徴としては、「人材を招致してきた こと」だと思う。明治の初期には現在の信州大学 の前身の附属師範学校に能勢栄や浅岡一といった 優秀な学者を迎えた。その当時は市町村が教員の 給与を支払っていたので、長野県の教員の給与は 日本一高かった。「人材」が非常に重要なキー ワードだということがわかる。現在、若い人たち が教職を魅力ある仕事と捉えないという状況は、 信濃教育会、そして郡市教育会にとっても人ごと ではない問題だと感じこれから長野県教育委員会 等と連携をしていく。

- ○「働き方改革は、勤務時間という量的なものから、教員のやりがい・楽しさといった質的なものに変えていく」という長野県教育委員会の方針があり、教師のやりがい・楽しさといった問題は教育会も積極的にかかわる問題であると思っている。また、教育免許更新後の研修履歴については、「それぞれの先生方の判断で書きたいことを書いて良い」という長野県教育委員会の方針ではあるが、研修として認めるかは各学校の校長の判断であるので、その校長先生方と一緒に先生方により良い研修を受けていただく様な環境・選択肢を広げていくといった意味では、教育会も積極的にかかわっていこうではないかと思っている。
- ○今までも、長野県教育委員会の研修と教育会の研修等様々な研修があり、一体化して欲しいという要望を受けている。その件について、今後取り組んでいく方針なので、是非皆様方のアイディア、お力添えをお願いしたい。
- ○現在、信濃教育会では信州大学教育学部の次世代型学び研究開発センターと連携協定を結んでいる。そして、3月末か4月頭に信州大学教育学部本体と連携協定を結ぶ予定である。また、教育学部を受験する人数が減ってきているという問題もあり、教員が魅力的な仕事であると伝えるのは教育会の仕事であるのでその問題にも取り組んでいきたい。信濃教育会や郡市教育会は、地域と共にあり、地域貢献という使命もあるので、もっているネットワークを活用し様々な問題に連携しながら取り組んでいきたい。
- ○皆様には令和4年度代議員として信濃教育会を支 えていただき,感謝申し上げる。

公益社団法人 信濃教育会

令和5年度 代議員(含補欠員)選挙公示

令和5年3月15日

公益社団法人 信濃教育会 代議員選挙管理委員会

定款に則り、令和5年度の代議員選挙を下記のように実施いたします。

記

1 本会の正会員であればどなたでも立候補できます。4月1日までに各教育会選出 の信濃教育会代議員選挙管理委員会委員(信濃教育会常任委員)までお申し出くだ さい。

令和5年度信濃教育会常任委員が選出されるまでは令和4年度の常任委員が信濃 教育会代議員選挙管理委員会委員の責務と権限を有していますが、4月1日以降、 申し出先が不明確な場合は各教育会事務局へお申し出ください。

- 2 候補者の受付と公示,投票及び開票の管理・運営は,各教育会の信濃教育会代議 員選挙管理委員会委員(信濃教育会常任委員)が行います。
- 3 選挙結果は会報5月号に掲載します。

以上

令和5年度 公益社団法人 信濃教育会 収支予算書

令和5年1月24日 理事会提案 令和5年1月24日 決議 令和5年2月4日 臨時総会提案 令和5年2月4日 承認

公益目的事業収支予算書 (令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(単位=円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	359	356	3
(2) 受取会費	148,239,000	151,319,000	△3,080,000
(3) 事業収益	38,724,500	38,672,500	52,000
1 購読収益	13,908,000	13,890,000	18,000
2 受取印税	24,400,000	24,400,000	0
3 講座受講料	366,500	332,500	34,000
4 会館使用料	50,000	50,000	0
(4) 受取負担金	0	0	0
(5) 受取寄付金	0	0	0
(6) 雑収益	408,950	408,550	400
経常収益合計 (A)	187,372,809	190,400,406	△3,027,597
2 経常費用の部			
【公益目的事業費】	186,936,571	182,707,084	4,229,487
(1) 職能研修事業費	38,146,000	38,738,000	△592,000
1 研究調査費	3,675,000	3,830,000	△155,000
1 委員会費	1,632,000	2,150,000	△518,000
2 旅費交通費	395,000	120,000	275,000
3 通信運搬費	193,000	200,000	△7,000
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	80,000	160,000	△80,000
6 印刷製本費	800,000	800,000	0
7 諸謝金	430,000	350,000	80,000
8 雑費	145,000	50,000	95,000
2 福祉教育資料研究調査費	296,000	264,000	32,000
1 委員会費	210,000	190,000	20,000
2 旅費交通費	24,000	24,000	0
3 通信運搬費	3,000	5,000	△2,000
4 支払助成金	40,000	40,000	0
5 支払寄付金	0	0	0
6 雑費	19,000	5,000	14,000
3 教育研究所運営費	4,780,000	4,965,000	△185,000
1 委員会費	186,000	230,000	△44,000
2 旅費交通費	2,519,000	2,558,000	△39,000
3 通信運搬費	70,000	170,000	△100,000
4 消耗什器備品費	0	0	0
5 消耗品費	286,000	286,000	0
6 印刷製本費	552,000	500,000	52,000
7 諸謝金	992,000	992,000	0
8 支払負担金	40,000	40,000	0
9 雑費	135,000	189,000	△54,000
4 講習講演会費	5,672,000	5,799,000	△127,000
1 旅費交通費	2,146,000	2,440,000	△294,000

г			
2 通信運搬費	122,000	172,000	△50,000
3 消耗品費	245,000	355,000	△110,000
4 印刷製本費	35,000	40,000	△5,000
5 賃借料	220,000	260,000	△40,000
6 諸謝金	985,000	1,440,000	△455,000
7 支払助成金	1,430,000	770,000	660,000
8 雑費	489,000	322,000	167,000
5 教育研究大会費	8,960,000	9,970,000	△1,010,000
1 旅費交通費	2,330,000	2,740,000	△410,000
2 通信運搬費	205,000	205,000	0
3 消耗品費	165,000	130,000	35,000
4 印刷製本費	120,000	160,000	△40,000
5 賃借料	300,000	300,000	0
6 諸謝金	2,000,000	2,600,000	△600,000
7 支払負担金	100,000	100,000	0
8 支払助成金	3,300,000	3,315,000	△15,000
9 委託費	300,000	300,000	0
10 雑費	140,000	120,000	20,000
6 視察派遣助成費	6,323,000	5,730,000	593,000
1 委員会費	570,000	570,000	0
2 旅費交通費	600,000	300,000	300,000
3 通信運搬費	58,000	60,000	△2,000
4 支払負担金	380,000	380,000	0
5 支払助成金	4,660,000	4,365,000	295,000
6 雑費	55,000	55,000	0
7 教育会研修助成費	1,000,000	1,000,000	0
1 支払助成金	1,000,000	1,000,000	0
8 応募型研修助成費	7,440,000	7,180,000	260,000
1 旅費交通費	236,000	15,000	221,000
2 通信運搬費	50,000	30,000	20,000
3 消耗品費	80,000	80,000	0
4 印刷製本費	0	30,000	△30,000
5 諸謝金	56,000	25,000	31,000
6 支払助成金	7,000,000	7,000,000	0
7 雑費	18,000	0	18,000
(2) 教育図書研究調査事業費	28,242,000	29,131,000	△889,000
1 教科用図書研究委員会費	9,200,000	9,818,000	△618,000
1 委員会費	6,552,000	7,095,000	△543,000
2 旅費交通費	690,000	715,000	△25,000
3 通信運搬費	95,000	230,000	△135,000
4 消耗什器備品費	100,000	200,000	△100,000
5 消耗品費	1,108,000	1,164,000	△56,000
6 諸謝金	240,000	240,000	0
7 雑費	415,000	174,000	241,000
2 学術図書研究委員会費	19,042,000	19,313,000	△271,000
1 委員会費	275,000	275,000	0
2 旅費交通費	100,000	100,000	0
3 通信運搬費	2,500,000	2,500,000	0
4 消耗什器備品費	0	2,300,000	0
5 消耗品費	80,000	80,000	0
6 印刷製本費	12,978,000	13,285,000	△307,000
7 諸謝金	1,626,000	1,570,000	56,000
-			
8 期首商品棚卸高	14,300,000	14,200,000	100,000

1 1			
9 期末商品棚卸高	△14,400,000	△14,300,000	△100,000
10 雑費	1,583,000	1,603,000	△20,000
(3) 生涯学習振興事業費	4,301,000	3,799,000	502,000
1 教育博物館運営費	2,041,000	1,499,000	542,000
1 委員会費	337,000	366,000	△29,000
2 旅費交通費	638,000	117,000	521,000
3 通信運搬費	131,000	131,000	0
4 消耗品費	170,000	170,000	0
5 印刷製本費	335,000	335,000	0
6 諸謝金	100,000	50,000	50,000
7 支払助成金	300,000	300,000	0
8 雑費	30,000	30,000	0
2 生涯学習推進支援事業費	2,260,000	2,300,000	△40,000
1 委員会費	40,000	40,000	0
2 旅費交通費	120,000	120,000	0
3 通信運搬費	140,000	150,000	△10,000
4 消耗什器備品費	150,000	150,000	0
5 消耗品費	200,000	220,000	△20,000
6 修繕費	150.000	150,000	0
7 印刷製本費	0	0	0
8 光熱水料費	470,000	470,000	0
9 保険料	180,000	180,000	0
10 諸謝金	100,000	100,000	0
11 委託費	570,000	570,000	0
12 雑費		150,000	△10,000
	140,000	·	
(4) 事業共通費	116,247,571	111,039,084	5,208,487
1 役員報酬	5,184,440	3,621,700	1,562,740
2 給料手当	62,653,160	61,138,100	1,515,060
3 退職給付費用	2,783,900	2,788,800	△4,900
4 福利厚生費	10,592,400	9,893,600	698,800
5 会議費	475,300	664,000	△188,700
6 委員会費	145,061	136,800	8,261
7 旅費交通費	712,950	697,200	15,750
8 渉外応接費	203,700	398,400	△194,700
9 通信運搬費	674,000	987,000	△313,000
10 減価償却費	9,048,075	7,967,599	1,080,476
11 消耗什器備品費	0	0	0
12 消耗品費	2,022,000	1,710,800	311,200
13 修繕費	202,200	197,400	4,800
14 印刷製本費	611,100	531,200	79,900
15 光熱水料諸費	11,997,200	11,712,400	284,800
16 賃借料	3,055,500	2,988,000	67,500
17 保険料	244,485	244,485	0
18 租税公課	2,994,000	2,772,000	222,000
19 支払負担金	2,172,800	2,124,800	48,000
20 雑費	475,300	464,800	10,500
【管理費】	42,218,570	42,793,397	△574,827
1 会議費	951,900	1,625,000	△673,100
1 総会費	720,000	1,320,000	△600,000
2 理事会費	50,000	50,000	0
3 監事会費	30,000	30,000	0
4 共通会議費	151,900	225,000	△73,100
2 会報発行費	3,181,000	3,753,000	△572,000
1 委員会費	0,101,000	42,000	△42,000
1 2222	U	12,000	12,000

2 旅費交通費	60,000	60,000	0
3 通信運搬費	770,000	800,000	△30,000
4 消耗品費	16,000	16,000	0
5 印刷製本費	2,300,000	2,800,000	△500,000
6 諸謝金	30,000	30,000	0
7 雑費	5,000	5,000	0
3 事務費	38,085,670	37,415,397	670,273
1 役員報酬	4,448,480	5,376,800	△928,320
2 給料手当	17,226,800	16,556,380	670,420
3 退職給付費用	889,700	945,000	△55,300
4 福利厚生費	3,385,200	3,352,500	32,700
5 旅費交通費	277,850	286,250	△8,400
6 渉外応接費	665,100	735,000	△69,900
7 通信運搬費	239,000	362,000	△123,000
8 減価償却費	1,752,080	1,449,407	302,673
9 消耗什器備品費	0	0	0
10 消耗品費	857,000	692,800	164,200
11 修繕費	115,700	118,400	△2,700
12 印刷製本費	495,300	480,000	15,300
13 光熱水料諸費	3,898,200	4,058,400	△160,200
14 賃借料	976,500	1,012,500	△36,000
15 保険料	62,460	62,460	0
16 支払負担金	744,400	770,000	△25,600
17 委託費	500,000	500,000	0
18 雑費	1,551,900	657,500	894,400
経常費用合計 (B)	229,155,141	225,500,481	3,654,660
当期経常増減額 (A)-(B)	△41,782,332	△35,100,075	△6,682,257
他会計振替額	8,380,929		
当期一般正味財産増減額	△33,401,403		
一般正味財産期首残高	330,294,615		
一般正味財産期末残高	296,893,212		
Ⅱ 正味財産期末残高	296,893,212		

出版事業収支予算書 (令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(単位=円)

			(単位=円)
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	8	11	△3
(2) 事業収益	14,780,000	14,700,000	80,000
1 購読収益	12,080,000	12,000,000	80,000
2 受取印税	2,700,000	2,700,000	0
(3) 雑収益	1,050	2,450	△1,400
経常収益合計 (A)	14,781,058	14,702,461	78,597
2 経常費用の部			
1 役員報酬	233,416	390,180	△156,764
2 給料手当	1,651,164	2,220,480	△569,316
3 退職給付費用	77,900	113,400	△35,500
4 福利厚生費	296,400	402,300	△105,900
5 会議費	13,300	27,000	△13,700
6 委員会費	255,939	303,200	△47,261
7 旅費交通費	19,950	28,350	△8,400
8 渉外応接費	5,700	16,200	△10,500

9 通信運搬費 871,000 740,500 130,500 10 減価償却費 5,597,687 312,945 5,284,742 11 消耗什器備品費 0 0 0 0 0 12 消耗品費 137,000 80,200 56,800 13 修繕費 5,700 8,100 △2,400 14 印刷製本費 5,712,100 5,571,600 140,500 15 光熱水料諸費 338,200 480,600 △142,400 16 賃借料 135,500 211,500 △76,000 17 保険料 7,470 7,470 0 18 諸謝金 0 0 0 0 0 19 租稅公課 1,060,000 916,650 143,350 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)-(B) 他会計振替額 0 位会計振替額 0 位会計振替額 0 位表3,729,468 886,486 △4,615,954 位会計振替額 ○3,729,468 886,486 △4,615,954 小銀正味財産増減額 △3,729,468 37,469 当期一般正味財産増減額 △3,766,937 一般正味財産増減額 ○3,766,937 一般正味財産期末残高 15,072,318 Ⅱ 正味財産期末残高 35,072,318 Ⅱ 正味財産期末残高 35,072,318 Ⅱ 正味財産期末残高 35,072,318				
11 消耗什器備品費 12 消耗品費 137,000 80,200 56,800 13 修繕費 5,700 8,100 △2,400 14 印刷製本費 5,712,100 5,571,600 140,500 15 光熱水料諸費 338,200 480,600 △142,400 16 賃借料 135,500 211,500 △76,000 17 保険料 7,470 7,470 0 18 諸謝金 0 0 0 0 19 租稅公課 1,060,000 916,650 143,350 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 当期経常増減額 (A)-(B) 他会計振替額 0 税別前当期一般正味財産増減額 △3,729,468 886,486 △4,615,954 他会計振替額 0 税別前当期一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 「33,729,468 886,486 ○4,615,954	9 通信運搬費	871,000	740,500	130,500
12 消耗品費 137,000 80,200 56,800 13 修繕費 5,700 8,100 △2,400 14 印刷製本費 5,712,100 5,571,600 140,500 15 光熱水料諸費 338,200 480,600 △142,400 16 賃借料 135,500 211,500 △76,000 17 保険料 7,470 7,470 0 18 諸謝金 0 0 0 0 0 18 諸謝金 0 0 0 0 0 19 租税公課 1,060,000 916,650 143,350 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雜費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)-(B) 位会計振替額 0 校別前当期一般正味財産増減額 △3,729,468 886,486 △4,615,954 位会計振替額 位3,729,468 38,400 ○25,600 公1,600,000 △182,000 公1,600,000 ○	10 減価償却費	5,597,687	312,945	5,284,742
13 修繕費 5,700 8,100 △2,400 14 印刷製本費 5,712,100 5,571,600 140,500 15 光熱水料諸費 338,200 480,600 △142,400 16 賃借料 135,500 211,500 △76,000 17 保険料 7,470 7,470 0 18 諸謝金 0 0 0 0 19 租税公課 1,060,000 916,650 143,350 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)−(B)	11 消耗什器備品費	0	0	0
14 印刷製本費 5,712,100 5,571,600 140,500 15 光熱水料諸費 338,200 480,600 △142,400 16 賃借料 135,500 211,500 △76,000 17 保険料 7,470 7,470 0 18 諸謝金 0 0 0 0 19 租税公課 1,060,000 916,650 143,350 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)−(B) 位会計振替額 0 校別前当期一般正味財産増減額 △3,729,468 886,486 △4,615,954 位会計振替額 0 校別前当期一般正味財産増減額 △3,766,937 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 △3,766,937 一般正味財産期青残高 一般正味財産期末残高 35,072,318	12 消耗品費	137,000	80,200	56,800
15 光熱水料諸費 338,200 480,600 △142,400 16 賃借料 135,500 211,500 △76,000 17 保険料 7,470 7,470 0 18 諸謝金 0 0 0 0 0 19 租税公課 1,060,000 916,650 143,350 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)-(B) 位会計振替額 0 校別前当期一般正味財産増減額 △3,729,468 886,486 △4,615,954 位会計振替額 (A)-(B) (A)-(B)-(B)-(B)-(B)-(B)-(B)-(B)-(B)-(B)-(B	13 修繕費	5,700	8,100	△2,400
16 賃借料 135,500 211,500 △76,000 17 保険料 7,470 7,470 0 18 諸謝金 0 0 0 0 0 19 租税公課 1,060,000 916,650 143,350 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)-(B) 位会計振替額 0 校別前当期一般正味財産増減額 △3,729,468 886,486 △4,615,954 位会計振替額 0 校別前当期一般正味財産増減額 △3,766,937 一般正味財産増減額 △3,766,937 一般正味財産期直残高 一般正味財産期末残高 35,072,318	14 印刷製本費	5,712,100	5,571,600	140,500
17 保険料 7,470 7,470 0 18 諸謝金 0 0 0 0 19 租税公課 1,060,000 916,650 143,350 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)−(B) △3,729,468 886,486 △4,615,954 他会計振替額 0 税別前当期一般正味財産増減額 △3,729,468 37,469 当期一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 ○3,766,937 一般正味財産期青残高 38,839,255 35,072,318	15 光熱水料諸費	338,200	480,600	△142,400
18 諸謝金 0 0 0 0 19 租税公課 1,060,000 916,650 143,350 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)−(B) △3,729,468 886,486 △4,615,954 他会計振替額 0 校別前当期一般正味財産増減額 △3,729,468 法人税・住民税及び事業税 37,469 当期一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 38,839,255 35,072,318	16 賃借料	135,500	211,500	△76,000
19 租税公課 20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)-(B) 他会計振替額 0 税別前当期一般正味財産増減額 法人税・住民税及び事業税 当期一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 の3,766,937 一般正味財産期直残高 一般正味財産期末残高 35,072,318	17 保険料	7,470	7,470	0
20 支払負担金 60,800 86,400 △25,600 21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)−(B) △3,729,468 886,486 △4,615,954 他会計振替額 0 校別前当期一般正味財産増減額 △3,729,468 法人税・住民税及び事業税 37,469 当期一般正味財産増減額 △3,766,937 一般正味財産増減額 △3,766,937 38,839,255 35,072,318	18 諸謝金	0	0	0
21 委託費 1,418,000 1,600,000 △182,000 22 雑費 613,300 298,900 314,400 経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A)-(B) △3,729,468 886,486 △4,615,954 他会計振替額 0 60 60 被引前当期一般正味財産増減額 △3,729,468 37,469 当期一般正味財産増減額 △3,766,937 -0 一般正味財産期首残高 38,839,255 35,072,318 一般正味財産期末残高 35,072,318	19 租税公課	1,060,000	916,650	143,350
22 雑費 613,300 298,900 314,400 28常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 314至	20 支払負担金	60,800	86,400	△25,600
経常費用合計 (B) 18,510,526 13,815,975 4,694,551 当期経常増減額 (A) - (B) 位会計振替額 0 税引前当期一般正味財産増減額 公3,729,468 法人税・住民税及び事業税 37,469 当期一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 一般正味財産増減額 38,839,255 38,072,318	21 委託費	1,418,000	1,600,000	△182,000
当期経常増減額 (A)−(B)	22 雑費	613,300	298,900	314,400
他会計振替額 0	経常費用合計 (B)	18,510,526	13,815,975	4,694,551
 税引前当期─般正味財産増減額 法人税・住民税及び事業税 当期一般正味財産増減額 一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 35,072,318 	当期経常増減額 (A)-(B)	△3,729,468	886,486	△4,615,954
法人税・住民税及び事業税 37,469 当期一般正味財産増減額 △3,766,937 一般正味財産期首残高 38,839,255 一般正味財産期末残高 35,072,318	他会計振替額	0		
当期一般正味財産増減額 △3,766,937 一般正味財産期首残高 38,839,255 一般正味財産期末残高 35,072,318	税引前当期一般正味財産増減額	△3,729,468		
一般正味財産期首残高 一般正味財産期末残高 38,839,255 一般正味財産期末残高 35,072,318	法人税・住民税及び事業税	37,469		
一般正味財産期末残高 35,072,318	当期一般正味財産増減額	△3,766,937		
	一般正味財産期首残高	38,839,255		
Ⅱ 正味財産期末残高 35,072,318	一般正味財産期末残高	35,072,318		
	Ⅱ 正味財産期末残高	35,072,318		

不動産貸与事業収支予算書 (令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(単位=円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	1,311	1,313	$\triangle 2$
(2) 事業収益	14,170,600	13,870,600	300,000
1 貸家賃貸料	9,826,600	9,526,600	300,000
2 貸地賃貸料	4,344,000	4,344,000	0
(3) 受取負担金	3,000,000	3,000,000	0
(4) 雑収益	500	500	0
経常収益合計 (A)	17,172,411	16,872,413	299,998
2 経常費用の部			
1 役員報酬	435,400	390,180	45,220
2 給料手当	2,648,360	2,949,380	△301,020
3 退職給付費用	127,100	142,800	△15,700
4 福利厚生費	483,600	506,600	△23,000
5 会議費	21,700	34,000	△12,300
6 旅費交通費	32,550	35,700	△3,150
7 渉外応接費	9,300	20,400	△11,100
8 通信運搬費	32,000	52,500	△20,500
9 減価償却費	4,875,540	4,128,444	747,096
10 消耗什器備品費	0	0	0
11 消耗品費	96,000	91,000	5,000
12 修繕費	209,600	110,500	99,100
13 印刷製本費	27,900	27,200	700
14 光熱水料諸費	3,619,600	3,673,000	△53,400
15 賃借料	539,500	553,000	△13,500
16 保険料	166,380	159,380	7,000

17 租税公課	2,146,000	2,011,350	134,650
18 支払負担金	99,200	108,800	△9,600
19 雑費	61,700	103,800	△42,100
経常費用合計 (B)	15,631,430	15,098,034	533,396
当期経常増減額 (A)-(B)	1,540,981	1,774,379	△233,398
他会計振替額	0		
税引前当期一般正味財産増減額	1,540,981		
法人税・住民税及び事業税	43,531		
当期一般正味財産増減額	1,497,450		
一般正味財産期首残高	179,601,837		
一般正味財産期末残高	181,099,287		
Ⅱ 正味財産期末残高	181,099,287		

災害見舞金事業収支予算書 (令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(単位=円)

			(単位=円)
科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常収益の部			
(1) 特定資産運用益	40,000,022	33,990,020	6,010,002
(2) 受取会費	3,000,000	3,000,000	0
経常収益合計 (A)	43,000,022	36,990,020	6,010,002
2 経常費用の部			
1 役員報酬	1,369,064	1,086,540	282,524
2 給料手当	4,162,716	3,838,260	324,456
3 退職給付費用	221,400	210,000	11,400
4 福利厚生費	842,400	745,000	97,400
5 会議費	287,800	250,000	37,800
6 旅費交通費	56,700	52,500	4,200
7 渉外応接費	16,200	30,000	△13,800
8 通信運搬費	71,000	93,000	△22,000
9 減価償却費	297,316	241,715	55,601
10 消耗什器備品費	0	0	0
11 消耗品費	268,000	135,200	132,800
12 修繕費	16,800	15,600	1,200
13 印刷製本費	108,600	40,000	68,600
14 光熱水料諸費	996,800	925,600	71,200
15 賃借料	243,000	225,000	18,000
16 保険料	11,205	11,205	0
17 支払負担金	172,800	160,000	12,800
18 支払見舞金	15,000,000	15,000,000	0
1 死亡・障害見舞金	9,000,000	9,000,000	0
2 入院・通院見舞金	3,000,000	3,000,000	0
3 自然災害見舞金	3,000,000	3,000,000	0
19 雑費	87,800	40,000	47,800
経常費用合計 (B)	24,229,601	23,099,620	1,129,981
当期経常増減額 (A)-(B)	18,770,421	13,890,400	4,880,021
他会計振替額	△8,380,929		
当期一般正味財産増減額	10,389,492		
一般正味財産期首残高	1,262,402,974		
一般正味財産期末残高	1,272,792,466		
Ⅱ 正味財産期末残高	1,272,792,466		

長野県教育委員会と、教育課題解決に向けて連携する覚書を締結 「教員の志願者増」「教員研修」の取組について連携協力



「教員不足」解消への秘策はあるのか。自主的な「教員研修」はどうあるべきなのか。

2月3日(金)本県の抱える教育課題に対して、信濃教育会と県教育委員会の相互の強みを基に連携する覚書を締結しました。

武田会長は「信州教育が高く評価されたのは、教育を重視し尊重する県民に支えられ優れた教師がいたからであると言われている。昨今、若い人たちにとって教職が魅力的な仕事でなくなり人材を招致できないのは信州の教育にとって由々しき問題。また、教員免許更新制度の廃止により現職教員の研修が現場に委ねられ、長野県の教育関係機関の力が試される。県内の教育にかかわる人々が力を集結することが重要。県教育委員会と私どもが胸襟を開いて議論をし、それぞれの強みを生かして長野県教育のために力を尽くしてまいりたい」とあいさつ。内堀教育長は「教員不足の問題、これからの新しい時代に向けた職員の研修のあり方、資質能力の向上など、今長野県教育が直面している課題解決に向けて信濃教育会との連携をさらに加速し促進することが必要」と述べました。

その後の懇談では、教員や学校の自由さや裁量性の高さなど長野県のもっている特質を強みに変えて、教員の主体性や自主性が発揮できるような研修のあり方を求めていくこと、学校現場から教職の魅力を発信していくことや現場の教員が夢ややりがいをもち元気よく働ける研修や環境を創ることが必要であることなどが話題となりました。

「教職員川柳」優秀作品発表!!

令和4年4月~令和5年1月末までにご応募いただいた37点の作品を会報編集委員会で審査し、5点の優秀作品を選出しました。

たくさんのご応募ありがとうございました。選出された作者の方には1000円分の QUO カードをお贈りいたします。

つげましょう はずしましょうの マスクかな

初春も 頭に浮かぶ 我が生徒

大本命 運動会で くつ脱げる

もう終わり? 名残惜し過ぎ 夏休み

いぬのなら 夜まで待とう 保護者連絡

------- 会報の発行について -------

今年度はフェイスブックや公式インスタグラムも開設し、ホームページと合わせ、よりタイムリーに旬な情報をご案内できるようになりました。そこで、これまで毎月発行していた会報の発行回数を令和5年度より見直すことといたしました。以下の月については2ヶ月分をまとめて合併号として発行する予定です。

□8, 9月を9月に発行 □11, 12月を12月に発行 □1, 2月を1月に発行

それに伴い、「会員ひろば」「リレー通信」「教職員川柳」の企画を終了いたします。多くの方々に ご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

今後も、ホームページや SNS での発信と合わせ、会員のお手元に直接お届けできるという会報の 強みが生かされるよう、より充実した内容となるよう努力してまいります。今後とも「信濃教育会報」をよろしくお願いします。

- 旅費支給規程改正のお知らせ ■

令和5年4月1日より旅費支給規程が改正されます。

現行の公共交通機関を基準とした算出方法から自家用車利用を基準とした算出方法に改め、遠距離移動による負担軽減が実現し、研修場所が遠方でも参加しやすくなりました。

会員の皆様のより一層の事業への参加・参画をお待ちしております。

Afternoonseminar へのお誘い

昨年度から企画しているアフタヌーンセミナー。16時からのオンラインとしています。

今年度は下記のテーマで開催し多くの先生方にご参加いただきました。ありがとうございました。

旬な話題をテーマに毎回識者や現場の先生方をお招きして語り合い、実践をお聞きしたりゲストの先生よりご示唆をいただいたりしています。来年度も実施予定です。開催日、テーマ等はその都度、ホームページ、SNS等でご案内します。奮ってご参加ください。

< R4アフタヌーンセミナーの内容>

回数	期日	テーマ ・ 内 容
第1回	5 /23 (月)	「教師が力をつける授業研究を考える」 「対話型模擬授業検討会」を通してより深い教師の省察を目指す野沢温泉中の取組みから考える
第2回	6 /20 (月)	「子ども達が教えてくれたこと」 4人の若い教師と教育研究所研究員が語る
第3回	7/12 火	「木村素衞の『教育愛』を知る」 木村の世界を信州大学の髙柳充利准教授と武田育夫会長が語り合う
第4回	9/9 金	「日本の学校や教育はどう変わっていくのか」 元長野県教育委員会教育長 伊藤学司さんに武田育夫会長が聞く
第5回	11/4 金	「学級合唱のちから」 ベテラン・若手が学級合唱への熱い思いを語り合う
第6回	11/29 (火)	「養護教諭はコロナ感染症とどう闘ったのか」 コロナ禍での奮闘を通してこれからの養護教諭について考える
第7回	12/21 (水)	「長野県の教育とは?これからの教育とは?」 熊本大学の苫野一徳准教授と武田育夫会長が「教育」について熱く語り合う
第8回	1 /24 (火)	「自由進度学習ってなんだろう?」 信州大学の伏木久始教授と実践している学校や市町村教育委員会担当者と武田育夫会長が語り合う
第9回	2/28 (火)	信州大学の村松浩幸学部長をコメンテーターに、信濃教育会の各種研修等で学んだ皆さんが「教師は どのように力をつけていくのか?」をテーマに話し合う

< R5アフタヌーンセミナーのご案内>



「長野県学事関係職員録」にかかわるお願い

令和5年度の原稿入力・職員録購入の申込みにかかわる日程は下記のとおりです。ご確認いただき、作業を進めていただきますようお願いいたします。

原稿入力

3月7日[火] 原稿入力にかかわる文書, 申込書を各学校へ送付

3月24日[金] ユーザコードをメールで各学校へ送信

3月28日[火] 午前8時30分 1次入力開始

4月11日「火」 午前9時 1次入力締め切り・1次完了報告締め切り

4月19日 「水」 午前8時30分 2次入力開始(修正入力が可能になります。)

●修正の有無にかかわらず、必ず2次完了報告を行ってください。

4月21日[金] 昼12時 2次入力締め切り・2次完了報告締め切り

購入申込み 締め切り

4月14日[金]

小・中・特別支援・義務教育学校 → 郡市教育会へ 高校・大学・各種学校、他 → 信濃教育会へ

問い合わせ

[原稿入力について] [購入申込みについて]

雑誌図書編集部 総務部 電話 026-232-6994 電話 026-232-2470



わたし自慢(43)

恵まれていた人とのつながり



野沢中学校 児玉 大和

自分のこれまでの生活の中で、自慢できることは なんだろうかと考えたとき、小学校1年生から高校 3年生まで続けてきたバスケでできた人とのつなが りがあげられると思う。

3つ上の兄が先にやっていたから、何となく始めた小学校1年生の頃。正直、魅力を感じなかったので、辞めたくてしょうがなかったけれど、小学校4年生の頃に転機が訪れた。自分のチームに同い年の人が何人か入り、仲間に恵まれたおかげで練習がと

ても楽しくなった のだ。中学校に進 学するときに数人 とは別の中学に なってしまった。 部活の雰囲気も嫌 で、バスケから離



れたい気持ちもあった。そんなときも小学校の頃の 仲間や、中学で新しくできた仲間のおかげで、なん とかバスケを続けることができた。

高校では、今まで一緒にやっていた仲間が一切いない、知らないもの同士だった。そんな中でバスケを続けていくことができるか不安ではあったが、心配は無用だった。高校の仲間にも恵まれたからだ。部活動のときだけでなく、仲間で遊びに行くなど、本当によく一緒にいた。社会人になった今でも、たまに連絡を取って会うこともある。仲間の一人は同じ長野県の教員で、部活動の練習試合や大会の会場で会うこともある。

これまでの人生の中で、いろいろと問題にも直面 して生きてきたが、自分は人とのつながりに恵まれ ていたので乗り越えることができたのだと思う。こ れからも、人とのつながりを大事にしていきたい。

....信濃教育....

予告



も達が教えてくれたこと 教職のやりがいを見つめる

を出そうとしました。混色した色に思 を色で表そうと明るい燃える赤系の色 打ち込んでいる友だちの野球への情熱 を欠かさないことを聞きます。練習に が野球が大好きでバッティングの練習 合います。真彩さんは、となりの友だち ツ、好きな時間を聞いてお互いを描き

となりの友だちに、好きな教科、スポー トキの生徒たち、ゲームや質問大会で となりの友だち」です。わくわくドキ 中学校に入学して初めての制作は

> すると手の位置にアドバイスがあった もっと迫力を出したいと友だちに相談

を重ねるように色を重ねました。

小林ゆかり (常盤中学校)

令和3年度 永年保存作品 今を生きる子どもの絵



楽し ツ ティング練習_ 岫 真彩(常盤中一年)

信濃教育博物館所蔵

自分を描いてくれる友だちにも感謝を

この絵を描くことを通して、真剣に

して美術も中学校生活もスタートしま

生活単元学習1年間の振り返り

らった真彩さんは笑顔も最高でした。 絵にも表れます。友だちに描いても ながら描くと友だちのよさもわかり、 そうです。そんなふうに相談していき

今年度の知障学級の生活単元学習では、「野菜を売ったお金でお出か けやお楽しみ会をしよう」を目標に学習を進めていくことにしました。 今年度は生徒数が2人と少ないため、甘唐美人、ナス、ししとう、さつ まいもなど、少人数でも無理なく栽培できる種類を厳選しました。夏休 み前から10月頃まで、夏野菜を中心に収穫と校内および最寄りの道の 駅で販売を行い、売上金を使って、お誕生日会やクリスマス会を行いま した。クリスマス会では、自分たちで作りたい料理(唐揚げとクッ キー)を決め、材料の買い出しから準備を始めました。みんなに喜んで もらえ、「やってよかった」という充実感を得ることができました。他

にも焼いも会をしたり、 樹脂粘土の キーホルダーを制作して先生方へプ レゼントしたりしました。様々な体 験活動を通して多くの皆さんと触れ 合うことで生徒が成長できた1年間 でした。 (城北中学校 矢野竜士)



当企画は本年度で終了となります。 たくさんのご投稿ありがとうございました。 9ページにて令和4年度の優秀作品を発表しています

教職員川柳

ご意見・ご感想はメールにてお送りください。kaihou@shinkyo.or.jp 「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。

